

ハンググライディングクロスカントリー技能証課程 実技科目チェック表

習得判断基準: 1、5は教員の口頭試問。2、3、4、6は各科目 3 回成功

アミかけは実技検定科目(1(①)、2(②または③))

科目	インストラクター署名欄			備考
	日付/署名	日付/署名	日付/署名	
1 クロスカントリー飛行の準備 ①フライトプラン(気象の確認、飛行方向、目標距離、飛行禁止空域の確認、地形と地名、ランディング候補地、回収の手配) ②飛行コースの下見 ③他者の XC フライトの回収 ④GPS やスマートフォンの使い方(回収者と位置情報を共有できる) ⑤無線機の活用法				
2 ソアリング ①2時間以上かつ獲得高度1000m以上のフライト				
②往復10km以上のアウト&リターン				
③片道10km以上のフライト				
3 マヌーバー ①高速直線飛行(60km/h以上で20秒以上)				
②360度連続旋回(45度バンクで同方向3周)				
③深いバンクでの押し出し操作				
④スリップターン				
⑤フレアターン				
4 ランディング ①ターゲット半径15m以内への着地				
②通常のランディング場以外への着陸				
③傾斜地ランディング (安全に実施できる場所に限る)				
5 気象条件の予測とフライト後の検証 ・気象情報を調べてフライトプランを立てる ・フライト後に予測がどの程度当たっていたか検証する				
6 競技フライト ・同高度の複数機で安全にサーマルソアリングができる				
実技検定:3回のフライト検定を実施し、試験科目を安全に実施した場合合格とする				